

京都市立総合支援学校高等部 令和7年度末卒業生の進路状況について

京都市立総合支援学校では、生徒の社会的自立を目指した教育活動として、年間約700回の職場実習や地域協働活動の取組を積極的に実施しています。とりわけ、職業学科では、学校での学習と企業での長期的な実習を組み合わせた「デュアルシステム」を導入し、3年間で約30週間の職場実習を実施しており、**今春の卒業生は全校で計68名が就職（就職率30.8%）※【うち職業学科61名（就職率69.3%）】**することとなりました。

※全国平均（令和6年度卒：29.8%）

＜令和7年度 総合支援学校高等部卒業生の進路状況＞

	普通科						職業学科			合計	比率
	北	北分校	東	西	呉竹	鳴滝	白河	東山	鳴滝		
卒業者数	25人	18人	18人	37人	35人	0人	33人	33人	22人	221人	—
<b>全体就職者数</b>	<b>2人</b>	<b>0人</b>	<b>0人</b>	<b>0人</b>	<b>5人</b>	<b>0人</b>	<b>24人</b>	<b>26人</b>	<b>11人</b>	<b>68人</b>	<b>30.8%</b>
うち、職業学科のみ	—	—	—	—	—	—	(24人)	(26人)	(11人)	(61人)	<b>69.3%</b>
就労移行支援・進学 (高等技術専門校等)	1人	2人	0人	1人	1人	0人	4人	4人	4人	17人	7.7%
就労継続支援A型	1人	0人	1人	1人	2人	0人	2人	1人	2人	10人	4.5%
就労継続支援B型	10人	9人	12人	22人	18人	0人	1人	2人	4人	78人	35.3%
生活介護・在宅福祉等	10人	5人	4人	11人	7人	0人	0人	0人	0人	37人	16.7%
その他	1人	2人	1人	2人	2人	0人	2人	0人	1人	11人	5.0%

※比率は小数点以下第4位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

＜総合支援学校高等部卒業生の進路状況の推移（過去10年間）＞

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
卒業者数	224	213	217	225	225	207	202	212	208	221
<b>就職者数</b>	<b>76</b>	<b>71</b>	<b>70</b>	<b>79</b>	<b>74</b>	<b>63</b>	<b>61</b>	<b>69</b>	<b>68</b>	<b>68</b>
就労移行支援・進学	17	20	17	18	14	21	10	11	17	17
就労継続支援A型	7	9	7	11	6	9	12	18	12	10
就労継続支援B型	51	53	44	48	48	50	52	52	60	78
生活介護・在宅福祉等	62	52	68	60	73	53	60	52	43	37
その他	11	8	11	9	10	11	7	10	8	11

[参考]

## ○主な就職先

(株)大垣書店、(株)三笑堂、スギスマイル(株)、(株)ドトールコーヒー、日本新薬(株)  
(株)パル、三菱自動車ウイング(株)、ヤマト運輸(株)、(株)ライフコーポレーション  
ルーム(株)、ワコールアイネクスト(株) 等

## ○主な事業所等

- ・ 就労継続支援…一般企業等での就労が困難な人に働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上に必要な訓練を行う事業所。(A型=雇用型 B型=非雇用型)
- ・ 就労移行支援…一般企業等への就労を希望する人に一定期間(2年)就労に必要な知識及び能力の向上に必要な訓練を行う事業所。
- ・ 高等技術専門校…京都障害者高等技術専門校など。
- ・ 生活介護…常に介護が必要な人に入浴や食事の介護などの支援に加え、創作活動や生産活動の機会を提供する事業所。

## ○京都市立総合支援学校高等部職業学科の概要 (平成16年4月設置)

- ・ 白河総合支援学校「産業総合科」: 専門教科「情報印刷」「農園芸」「食品加工」を設置。名刺等の作成・納品、野菜の栽培や販売、焼き菓子・パンの製造や販売などに必要な知識や技術を学ぶことを通して、働くことの「基礎・基本」や社会的・職業的自立に向けた力を身につけている。
- ・ 東山総合支援学校「地域総合科」: 専門教科「福祉」として、「食品」「コミュニティ」「東山」「養正」に分かれ、地域との協働活動の取組を通して、働くことの「基礎・基本」や社会的・職業的自立に向けた力を身につけている。
- ・ 鳴滝総合支援学校「生活産業科」: 専門教科「家政」「福祉」「流通・サービス」を設置。クリーニング、福祉介護、メンテナンスに必要な専門的な学習を通して、働くことの「基礎・基本」や社会的・職業的自立に向けた力を身につけている。

※H25 東山分校 (H28 東山総合) の開校により、職業学科の総定員数は当初から約2倍 (48名⇒92名) に拡大。

## ○「京都市立総合支援学校デュアルシステム」の取組

総合支援学校での授業と企業での長期的・計画的な実習を組み合わせ、学校で学んだことを企業で実際に体験する中で、企業が求める人材を育成する新たな職業教育を構築。企業等で構成するネットワークを組織し、生徒の進路開拓に向けた取組を推進している。こうした取組によって特に職業学科では、高等部在籍3年間で約30週の企業等での職場実習を実施している。

## ○定着率について

卒業後も2年間は教員がアフターフォローしており、直近5年間(令和2年～6年度)の定着率は、78.5%と高水準を維持している。